



山の学習の「スローガン」 「たきび」の実現！

山の学習に欠かせないのがキャンプファイヤー。「おやじの会」の方々が作ってくれた井桁を囲み、雨天でもファイヤーができる太陽の広場にて盛大に行われました。「遠き山に日は落ちて」の歌とハミングの中、火の神（営火長）が登場し、井桁に火が灯されると、セレモニアルファイヤーの始まりです。みんなの「燃えろよ燃えろ」の歌声とともに火は徐々に大きくなり、楽しいボンファイヤーの場へと変わっていきました。今年度は5，6年合同で行われたため、8つのグループから歌、劇、ダンス、クイズなど、趣向を凝らした様々な出し物が見られ、大いに盛り上がることができました。やがて、火が徐々に小さくなり、再び厳粛なセレモニアルファイヤーへ。エールマスターのお話により目を閉じ耳を澄ますと、須淵の自然と生き物が織りなす素敵な音が心地よく聞こえてきます。ゆっくりと目を開けると、火の神の手には明るく灯ったトーチの炎。分火された火は、「友情」「協力」「希望」の火となり、火文字へ点火されます。「たき火」の文字が浮かび上がった瞬間、大きな歓声が沸きました。最後は、一人一人のランタンに火が灯され、みんなの心をつなぐ一つの輪となってキャンプファイヤーは幕を閉じました。キャンプファイヤーの火は消えてしまっても、この良き日の感動や素敵な思い出は、ずっと心に炎を灯して燃え続けることでしょう。



2日目は、まず奉仕活動の実施。この活動がとても素晴らしかったです。「来た時よりも美しく」「後から使う学校が気持ちよく使えるように」と、少年自然の家の使った場所を、みんなで協力して一生懸命にきれいにする姿がありました。きっと心もすっきりきれいになったでしょうね。

最後の活動は、落ち葉スキーとアスレチック。さすがにこれは安心、安全を最優先し、レクリエーションに変更しました。しかしながら、このレクリエーションがものすごく楽しく、歓声と笑顔でいっぱいでした。特にモルックは初めて体験する子がほとんどで、班対抗戦は大いに盛り上がりました。どんな状況でも何ができるか考え、みんなで一緒に楽しむことができる常磐の子は、とても温かく前向きな子たちだと感じました。



山の学習の2日間は、スローガン「たきび（楽しく、切りかえ、ビビらずトライ）」を実現した最高の行事でした。5，6年生の皆さん、全力トライありがとう！そして、様々なサポートをしてくださった少年自然の家の方々、おやじの会、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

☆保護者の皆様へ 行事の予定変更のお知らせ
持久走大会の日程を次のように変更します

11月18日(金) 龍北総合運動場<陸上競技場内>

